

途中からテープもなくな
って、なんだか変だ
と思っていたのに。
やっとおかしいと確信
した頃にGPS見ると案
の定、思っていたより
南にいた。

△372.5

西風蕃山

同じ場所に戻った

萱ヶ崎山



何故にまっすぐのところを途中でわざわざ曲がったのか…完全に無意識だったというか…それが分からないのが怖い。注意散漫か。言い訳のしようもない。そして本気で迷っている時って、迷っている自覚がないのね。恐ろしい。途中からテープもなくなって、なんだか変だと思っていたのに。やっとおかしいと確信した頃にGPS見ると案の定、思っていたより南にいた。

あの赤土エリアはなんだか気味が悪かった。でも結構足跡はあったね。地図見ると色々繋がってるようなので、知っている人は歩いているところなんですかね。赤土エリアをぐるぐる彷徨って、同じ場所に戻った時はさすがにヒヤリとした。このままこの山から出られないのではと一瞬過った程。（HP参照）

送電線沿いに道があって、分かりやすいため道に迷ったのかもしれない。迷っている自覚がないといわれる。無理もない、地図の先読みをしていないのだろう。道迷いのほとんどは、地図の先読みをせず、何も考えていない。すなわち「根拠なく進む」。これが道迷いの最大の要因だ。